

第38回日本クラブユース選手権 (U-15) 大会報告書



概要



- 期日

2023/8/15（火）～8/24（木） 予選リーグ 3 試合、決勝トーナメント 5 試合

- 参加者

選手20名（GK2名、FP18名）スタッフ5名（小林、中島、竹元、笹方、須賀）

- 会場

北海道帯広市周辺の会場 ※今年度で終了

- 競技方法

グループステージは試合時間70分（ハーフタイム10分）

ノックアウトステージ準決勝からは80分（ハーフタイム15分）

※ノックアウトステージ引き分けの場合、準決勝からは延長あり

グループリーグ組み合わせ



第38回 日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会

Aグループ		Bグループ		Cグループ		Dグループ		Eグループ		Fグループ	
1	鹿島アントラーズ	1	三菱養和SC調布	1	FC多摩	1	横浜FC	1	ヴィッセル神戸	1	名古屋グランパス
2	ソレッソ熊本	2	ヴァンフォーレ甲府	2	アスルクラロ沼津	2	ベガルタ仙台	2	FCV可児	2	FCカナロア
3	ファジアーノ岡山	3	愛媛FC	3	ヴィクサーレ沖縄	3	コンサドーレ札幌	3	栃木SC	3	リップエース
4	カターレ富山	4	アリーバFC	4	セレッソ大阪 西	4	FC今治	4	SSSジュニアユース	4	アビスパ福岡
Gグループ		Hグループ		Iグループ		Jグループ		Kグループ		Lグループ	
1	サンフレッチェ広島	1	清水エスパルス	1	東急Sレイエス	1	京都サンガF.C.	1	V・ファーレン長崎	1	FCラヴィーダ
2	アントラーズつくば	2	ガンバ門真	2	アルビレックス新潟	2	刈谷JY	2	川崎フロンターレ	2	ガンバ大阪
3	フレスカ神戸	3	サガン鳥栖	3	フォルツァ'02	3	ジェファFC	3	フォーリクラッセ仙台	3	ツエーゲン金沢
4	JFAアカデミー福島	4	FC東京むさし	4	フェルボール愛知	4	クラブ与野	4	シーガル広島	4	サガン唐津

CY①vs FC多摩

結果：3－3

得点 塩尻2、丸尾1

エゼモクエ
35分

坂元 佑綺
35分

津田 颯太
70分

塩尻哲平
66分

山元 詠太郎
4分 + ADT

木村風河
70分

岡崎 葵
64分

西川 碧
6分 + ADT

丸尾康太
69分

大島鉄平
70分

海保 楓太
70分

荒本 路久
1分 + ADT

木立 希望
70分

長谷川 貴也
70分

STARTINGMEMBER

U15 7人

U14 4人

山田 空輝
35分

川中 碧音
35分

CY②vs アスクラロ沼津

結果：6－1

得点 塩尻 2、木村2、坂本 1、荒本 1

エゼモクエ
44分

坂元 佑綺
26分＋ADT

津田 颯太
64分

米田 剛琉
6分＋ADT

塩尻哲平
70分

木村風河
70分

片山祥太
ADT

丸尾康太
70分

大島鉄平
70分

木立 希望
35分

長谷川 貴也
70分

岡崎 葵
44分

西川 碧
26分＋ADT

海保 楓太
70分

荒本 路久
35分

川中 碧音
70分

STARTINGMEMBER

U15 6人

U14 5人

CY③vs ヴィクサーレ沖縄

結果：4－1

得点 塩尻2、OG、坂本1

塩尻哲平
35分

木村風河
35分

國吉晴向
35分

片山祥太
35分

坂元 佑綺
70分

西川 碧
59分

丸尾康太
35分

大島鉄平
70分

米田 剛琉
11分 + ADT

エゼモクエ
35分

力石準之介
44分

津田 颯太
70分

荒本 路久
35分

海保 楓太
70分

長谷川 貴也
70分

STARTINGMEMBER

U15 8人

U14 3人

川中 碧音
70分

ノックアウトステージ

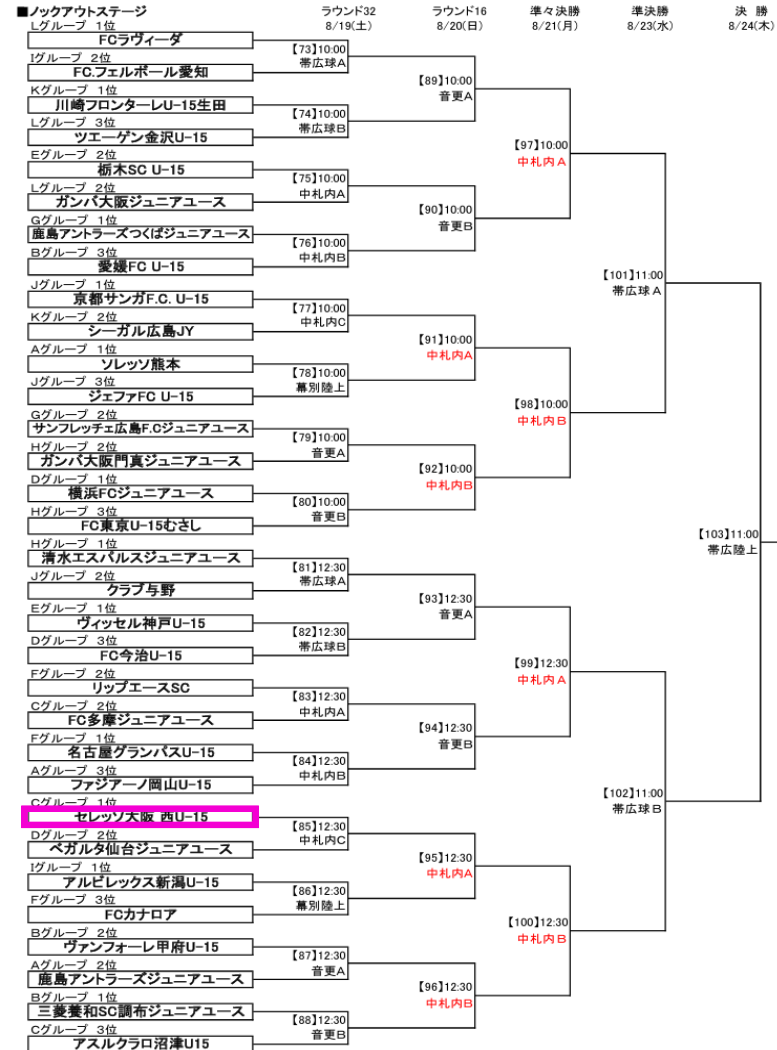


一般財団法人 日本クラブユースサッカー連盟

第38回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会



(2023年8月15日～24日 北海道 帯広市、中札内村、幕別町、音更町)



CY R32vs ベガルタ仙台

結果：3－3(PK3-4)

得点 木村 1、塩尻 2

エゼモクエ
35分

坂元 佑綺
35分

塩尻哲平
70分

木村風河
70分

岡崎 葵
35分

西川 碧
35分

丸尾康太
70分

大島鉄平
70分

津田 颯太
70分

海保 楓太
70分

長谷川 貴也
70分

荒本 路久
70分

STARTING MEMBER

U15 6人

U14 5人

川中 碧音
70分

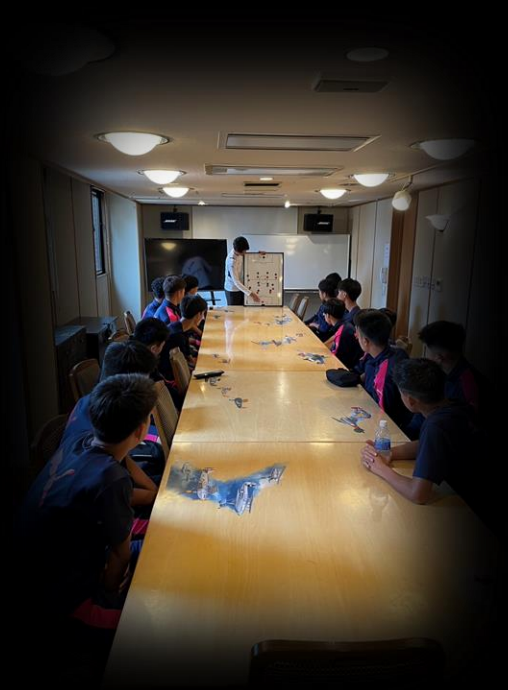
選手へのアプローチ



- ・ 試合当日の出発前にMTG(開幕戦以外は映像あり)
- ・ 試合後の夜に振り返りMTG(映像あり)

大会を通じて提示 & 振り返った項目

- ①試合の入り方(立ち上がり 5 分)
- ②起点
- ③場所を守る ⇔ ボールを奪う
- ④交代選手



チームでの成果（ピッチ内）



①相手CBを攻める（4試合で16得点）

⇒シーズンを通しての取り組み

②「一人でボールを奪う」ことに関して、高い意識と前向きのボール奪取に手応えがあった（1の守備）

⇒7月、8月の取り組み

③U14年代の選手を多くスタメンで起用できた（R32では11人中5人）

チームでの課題（ピッチ内）

①ボールを自分の場所において闘えなかった

特に多摩戦では密集で奪いにくる相手に対して、自分の場所にボールを置いて、選んでプレーすることが少なかった(逆をとらない)。

それにより時間がほとんど貯まらなかった

⇒体の競争や判断の焦りでボールロストが多い

⇒大会を通じて相手保持の時間が多く生まれ被セットプレーも増えた

②奪うorゴール側に戻すの判断(2の守備)

相手と横並びの状況で、「奪いたい」をおさえられず、分かれていてもボールにちょっかいをかけることが多かった

⇒それにより相手が速くなるor無駄なファウルが起こる

チームでの課題（ピッチ内）

③勝つための確率を上げる、もしくは下げるプレーをまだまだ理解・実践させられていない。

例)

- ・無駄なファウル
- ・足の出し方(被CK)やクリアーの判断
- ・セットプレーの前後
- ・感情を相手に見られてしまう(幼さ)

ピッチ外での経験

- ・ 1週間以上の合宿(連戦や休息日などストレスのかかり続ける状態)を経験することで、オンとオフの切り替えや、ピッチ外での過ごし方が反映されやすかった
- ・ 感情が多く動いた分、選手が感じていることを言葉にして話せた。
- ・ 選手同士で刺激を得た(2年生から見た3年生)
- ・ スタッフも成長するきっかけを得た

⇒選手に話がより伝わりやすくなったと感じている



今後に向けて



①技術(余裕がもてるほどの頭・体・ボールを扱う技術)

②勝つ確率を上げる、下げるプレーを体で覚える

③一人で解決できる力(オフザピッチからの視点で)

⇒年齢関係なく無意識レベルへ！



感謝・御礼



ご案内 INFORMATION

歓迎
セレッソ大阪 西
U-15 御一行様



歓迎

セレッソ大阪 西
U-15 御一行様



セレッソ大阪 西 U-15

今後プロで活躍する姿を
ふく井ホテル一同楽しみにしております。
気をつけてお帰り下さい



感謝・御礼



ハナサカクラブの皆様
日頃から温かいご声援、ご支援いただき
誠にありがとうございます。
今後ともよろしくお願いいたします。

